

久美高だより

第3号

発行 平成26年6月

京都府立久美浜高等学校

住所 京丹後市久美浜町橋爪 65 番地

電話 0772-82-0069

フロに学ぶ!!

生産科学系列2・3年生の環境保護活動 絶滅危惧種「トウテイラン」を救え!

生産科学系列等の2,3年生17名が、環境省自然公園指導員・後藤久和さんの指導のもと、トウテイランの挿し木を行いました。トウテイランは環境省レッドリスト絶滅危惧Ⅱ類に指定されており、京都府の丹後半島から島根県の隠岐の島にかけての沿岸に局地的に自生しているものの、このままでは絶滅してしまう可能性があるといわれている日本固有種です。

京丹後市では、豊かな自然環境を活かしたまちづくりのため、京丹後市の花であるトウテイランを市民とともに育てる花いっぱい運動を推進、観光復興や地域の活性化に繋げていく計画をしています。

久美浜高校では、市の計画する全900鉢のうち、300鉢の挿し木を行い、秋まで校内で管理し、その後は久美浜一區のみなさんの手で苗を大きく育て、花いっぱいのまちづくりにつなげてもらう予定です。



先進地視察

農業を学ぶ生産科学系列の2・3年生18名が6月19日(木)に京都学園大学バイオ環境学部・京都府農林センター(いずれも亀岡市)を訪ね先進地視察研修を行いました。

この研修は、①「農業関連学部を持つ大学」の施設見学や大学の先生から話を聞くことにより、自らの進路や今後の農業学習のあり方を考える機会にする。②京都府の農業の現状と課題を理解する。③生産科学系列の学年を超えた連帯感や、生産科学系列生としての自覚を高める。ことを目的に実施しました。生徒は、大学等の施設設備の充実度に感心するとともに、農業の未来をイメージしました。専門的な説明に対し、熱心にメモを取りながら聞き入っていました。



福祉系列 先進施設 見学実習

〈丹後園〉〈大阪エイジレスセンター〉

6月5日、この春から福祉の専門的な学習を始めたばかりの2年生が、高齢者総合福祉施設 丹後園(京丹後市網野町)で見学実習を行いました。器具を用いて痰を取る「喀痰吸引」、管を通して栄養を摂ってもらう「経管栄養」の、二種の医療的ケアを間近で見学し、イメージをつかむことができました。



また、20日には、福祉系列と教養系列初任者研修課程の生徒が、大阪南港アジア太平洋トレードセンターにある福祉・介護関連の常設展示場「ATCエイジレスセンター」に視察研修に行きました。日本最大規模の常設展示場とあって、本物の福祉車両やバリアフリーの風呂やトイレ、キッチンなど大がかりな最新の機材が多く展示されています。「新しい情報を積極的に学ぶことも介護職として大切」と実感した一日研修でした。



福祉系列 フロの出前授業!

—普通救命講習(3年生)—

—介護福祉士に必要なコミュニケーション技術—

6月9日、峰山消防署久美浜分署の専門家をお招きし、福祉系列の3年生が介護に必要な救急対応についての知識と、AED(自動体外式除細動器)操作や心肺蘇生法などの技術を身につけるために、「普通救命講習」を受講しました。救命救急について正しい知識をきちんと学べたことは、介護福祉の現場だけでなく、一生の大きな価値のある学習になったことと思います。

また、6月11日には、1・2年生対象に京都YMCA国際福祉専門学校から松川貴紀先生をお招きし、「介護福祉士に必要なコミュニケーション技術の実践」についての講義をしていただきました。生徒たちの感想は、「改めてコミュニケーションの大切さを知ることができた。ただ一方的に話すのではなく、相手の意見も待つのも大切なんだと改めて理解することができた。」「コミュニケーションは、1対1で話すだけでなく、集団でのコミュニケーション、物を使ったコミュニケーションなど様々なものがあるんだと思った。」などです。大きな収穫を得た講義でした。



8月5日(火) 午前

“久美高体験セミナー”を開催します

全体説明会や体験授業、クラブ活動の見学等があります。久美浜高校を体感してください。お待ちしております。参加は、中学校の担任の先生を通じて申し込んでください。

近畿高校総体カヌー競技 4種目を制覇!!

6月13日(金)から15日(日)まで、地元・久美浜湾カヌー競技場で、近畿総体が開催されました。近畿各府県を代表する14校175名が熱戦を繰り広げる中、本校は9種目中4種目で優勝、その他にもすばらしい活躍をしました。



- 1位 K-1 2年 村野 武広 (久美浜中)
 優勝 C-1 3年 服部 友哉 (久美浜中)
 C-2 3年 武野 勇大 (久美浜中)、3年 服部 友哉 (久美浜中)
 C-4 3年 武野 勇大 (久美浜中)、2年 山崎 亮佑 (大宮中)
 3年 服部 友哉 (久美浜中)、1年 鎌田 龍 (久美浜中)

K-2 2年 村野 武広 (久美浜中)、2年 浦野 亮太 (久美浜中) 4位 / K-4 2年 浦野 亮太 (久美浜中)、1年 松岡 龍児 (久美浜中)、1年 安井 光太郎 (久美浜中)、1年 山下 千裕 (久美浜中) 5位 / C-1 3年 武野 勇大 (久美浜中) 5位 / 1年 鎌田 龍 (久美浜中) 8位

WK-1 3年 中村 知江里 (久美浜中) 3位 / WK-4 3年 中村 知江里 (久美浜中)、2年 橋本 ありま (久美浜中)、2年 森野 美桜 (久美浜中)、3年 富川 琴美 (久美浜中) 6位

近畿高校総体のカヌー大会運営に貢献 ボランティア

より良い大会となるよう地道に頑張った久美高生がいます。生徒会長を始め生徒会役員や吹奏楽部の皆さんは、開会式・閉会式を引き締まった雰囲気の中、盛り上がりのある式典にすることができました。剣道部、サッカー部、ソフトテニス部のメンバーは、大会の裏方となる検艇・配艇補助員や記録補助員として責任を持って務めました。選手達が熱のこもった戦いを繰り広げる中、スムーズな競技の進行に貢献することができました。

また、競技アナウンスを4名が分担して担当し、出場選手の紹介や試合結果の紹介、着順やタイム等を広い競技場全体に正確に伝えることができました。カヌー専門の大会役員や顧問の先生方からは、「日頃から練習をしている放送部員のような」とお褒めの言葉をいただきました。



[レース終了後の検艇補助] レースが終わったものの選手の表情には厳しさが残っています。誇らしい選手の陰に悔しさを噛みしめる選手の姿が交錯する場面です。



[記録補助員によるレース結果の掲示発表] 着順とともに1000分の1秒まで気にする視線があります。

[式典や競技アナウンスを行った放送補助員] 放送部さながらのアナウンスと絶賛でした。



[式典補助] 緊張したのは選手だけではありませんでした。

野外での開放感ある式典ですが、緊張感のある引き締まった開会式・閉会式となりました。開会式では、本校生徒会長 安川泰志郎 くん(弥栄中)が歓迎の言葉を述べました。吹奏楽部による入場行進曲や国歌、表彰式での得賞歌の演奏で式典に彩りが生まれました。

活躍する選手の、大会に込める意気込みを感じ取り、同じ高校生として熱い思いを共有しながら大会運営に関わることができた久美高生ボランティアの皆さん、お疲れ様でした。他府県から参加した選手や監督は勿論のこと、京丹後市の方々にも高校生ボランティアに評価と信頼を寄せていただいています。大会終了とともに疲労感を感じたことと思いますが、同時にそれ以上の充実感や達成感を味わって欲しいと思います。

来年は、全国高校総体(インターハイ)が久美浜湾で行われます。規模も大きく選手の思いもより熱い大会です。同じ高校生として大会の成功に貢献し大きな感動を共有しましょう。

[このほかに実施した行事]

- ・5月29日(木)、校内球技大会(生徒会主催)を開催しました。
- ・6月6日(金)、劇団「うりんこ」による演劇『罪と罰』を、全校で鑑賞しました。
- ・5月31日(土)・6月15日(日)、丹後通学圏高校説明会に参加しました。



くわしくは、久美浜高校ホームページで紹介しています。ぜひ、ご覧ください。